

Fresh Conacet ~CMDJ 2026~
~より豊かな音楽の未来をめざして~



すみだトリフォニーホール 小ホール
2026年4月15日(水)

主催：日本音楽舞踊会議／後援：季刊『音楽の世界』

《 プ ロ グ ラ ム 》

砂田 萌 (ソプラノ)

ピアノ：雨宮 南月

浅香 満
浅香 満

『三つのこもりうた』より II 雲のお舟 III 母
『黒木瞳の詩による3つの歌』より III 秋の夜

伊藤 優希 (ソプラノ)

ピアノ：関水 陽香

R. シューマン
R. Schumann

『5つの陽気な歌』作品125より 1 海の妖精、3 若き諸民族の歌、5 春のよろこび
[5 Heitere Gesänge]~ 1 Die Meerfee 3 Jung Volkers Lied 5 Frühlingslust

若崎 そら (マリンバ)

C. Z. マルヤン
C.Z. Marjan

「レムリア」 ~滅びた文明~
「Lemuria」 「The Fallen Civilization」

安藤 友里恵 (ソプラノ)

ピアノ：木俣 櫻子

C. ドビュッシー
C. Debussy

『ヴァニエ歌曲集』より マンドリン、アリエルのロマンス
[Recueil Vasnier]~ Mandoline, La Romance d'Ariel

夏目 明歩 (ソプラノ)

ピアノ：関水 陽香

V. ベッリーニ
V. Bellini

歌劇《清教徒》より “あのお方の優しい声が”
Opera 《I Puritani》~ "Qui la voce sua soave"

----- 休 憩 -----

【アンサンブル 6重奏】

今岡 周太郎 (バス・トロンボーン) / 瀬戸 陽菜 (マリンバ) / 安田 早奈恵 (ヴァイオリン)
福家 平良 (コントラバス) / 高野 桃 (ピアノ) / 三浦 侑晟 (打楽器)

D. シュナイダー バストロンボーン協奏曲「サブゼロ」
D. Schnyder Bass Trombone Concerto [subZERO]

宮田 結菜 (ソプラノ)

ピアノ：関水 陽香

A. サリエリ 歌劇《見出されたエウローパ》より “神々よ 私はやっと息ができる… ああ、はっきりとを感じる”
A. Salieri Opera 《L'Europa riconosciuta》~ "Numi respiro... Ah! Lo sento"

野原 章史 (ピアノ)

F. リスト
F. Liszt

ハンガリー狂詩曲第2番 S.244 嬰ハ短調
Ungarische Rhapsodie Nr. 2 S.244 cis-moll

落合 真悟 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

M. マレ 『ヴィオール曲集第4巻』

異国趣味の組曲より：26. アラベスク / 組曲第4番 イ短調より：ミュゼット 1.2

M. Marais [Pièces de viole, Livre4.]

ite d'un gout Etranger : XXVI. L'Arabesque / Quatrième suite en la mineur: Muzette I, II

岩石 智華子 (メゾ・ソプラノ)

ピアノ：田中 礼二郎

高橋雅光 「春～さくらに寄せる[3つの短歌]」

①「花醍醐」②「夜桜幻想“清水へ”」③「行く春へ」

G. ドニゼッティ
G. Donizetti

歌劇《ラ・ファヴォリータ》より “わたしのフェルナンド”
Opera 《La Favorita》~ "O mio Fernando"

司会：中村 貴代

《ごあいさつ》

Fresh Concert CMDJ は 2003 年に第 1 回を開催し 2019 年の第 17 回までは、東日本大震災など様々な困難を乗り越え毎年休まず開催することができたのですが、世界中に感染を広げた新型コロナの影響は大きく、2020 年～2022 年の 3 年間は中止を余儀なくされました。しかし、2023 年 4 月 12 日に 4 年振りに開催し、その後は以前同様毎年開催されています。

さて、**CMDJ** は本音楽舞踊会議の英語名 (The **C**onference of **M**usic and **D**ance, Japan) の略称で、2006 年まで CMD と称していましたが、2007 年に CMDJ に変更され現在に引き継がれています。

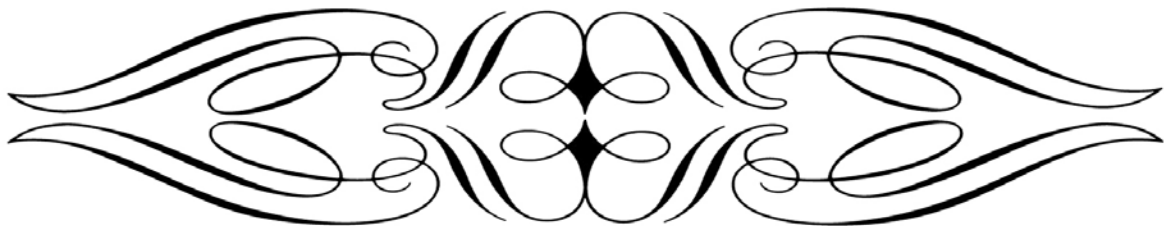
一見豊かそうに見える我が国ですが、特に近年は物価高の影響で庶民の生活は苦しく、我が国の社会、文化環境は、音楽をめざす多くの若者たちにとって、決して恵まれているとは申せません。しかし、そういう状況下において、若い才能を発掘し、育成につとめることも、創立以来 60 年を越える歴史を重ねて来た当音楽文化団体 (CMDJ) として果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003 年以来、毎年 3 月下旬～4 月上旬に『Fresh concert CMDJ』を企画し、開催してまいりました。

なお、パソコンやスマホをお持ちの方は、ブラウザで“fresh concert cmdj”のキーワードで検索すると、Fresh Concert CMDJ を詳しく紹介したページ、「Fresh Concert について」に辿りつけるとおもいます。

通算 21 回目の開催となる本年は 15 名の参加者に加え、伴奏者 4 名を含めると 19 名の若い音楽家たちがステージを踏みます。今回は、6 人の演奏者によるアンサンブルも加わり、多彩で充実したコンサートが期待できると思います。

どうか、若い音楽家たちが情熱を注ぐ演奏に耳を傾け、温かく励ましてあげてください。聴衆の皆様と共に音楽の喜びを分かち合うことができれば、出演者およびスタッフ一同にとって、この上ない喜びであります。

日本音楽舞踊会議	代表理事	深沢亮子
	理事長	北川暁子
	公演局長	北條直彦
コンサート実行委員長		中島洋一



《演奏者プロフィール》



①砂田 萌 (すなだ・もえ：ソプラノ)

大阪府高槻市出身。幼少期よりバレエおよび声楽を学び、合唱団や児童劇団に所属する。京都堀川音楽高等学校を経て、国立音楽大学声楽専修に進学。在学中は学内外の演奏会や舞台に積極的に出演し研鑽を積む。4年次には奨学生としてパークリー音楽大学の夏期講習会に参加。卒業時には成績優秀者に選抜され、卒業演奏会に出演。

これまでに声楽を宍戸律子、津山和代、佐藤ひさら、平井香織の各氏に師事。2026年1月、オペラ《リゴレット》にてマッドレーナ役でデビュー。クラシックを基盤としながら、ミュージカルや朗読劇など幅広い分野で活

動している。

①B:雨宮 南月(あめみや・なつき)：伴奏ピアノ)

東京都出身。国立音楽大学音楽教育専修卒業。ならびにピアノコース修了。これまでにピアノおよび伴奏法を柴洋子、榎本潤、岡本知也の各氏に師事。アンサンブル・ピアニストとしての活動を中心に、古楽やミュージカルなど新たな分野にも挑戦している。現在、同大学大学院修士課程・器楽専攻(伴奏コース)1年に在学中。



②伊藤 優希 (いとう・ゆうき：ソプラノ)

山形県出身。宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。同大学卒業演奏会に出演。国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻歌曲コース修了。ドイツ・ロマン派を中心とした歌曲、および宗教音楽の演奏・研究を行う。井坂恵、黒田博、加納悦子の各氏に師事。



②B:関水 陽香(せきみず・はるか)：伴奏ピアノ)

国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業、及びアンサンブル・ピアノ・コース修了。同大学

院修士課程器楽専攻伴奏コース修了。

第27回PIARAピアノコンクール銅賞。第56回新報音楽コンクール3位。第18回ベーテン音楽コンクール1位。GIMHAE International Music Festival Piano Academy 2023及び2024に参加。在学中、学内演奏会等多数出演。

これまでにピアノを李種姫、稲積亜紀子、近藤伸子の各氏に、伴奏を奈良希愛、河原忠之、梅本実、田中悠一郎の各氏に師事。





若崎 そら(わかさき・そら：マリンバ)

第23回 KOBE 国際コンクール B 部門最優秀賞並びに神戸市民文化振興財団賞受賞、第19回イタリア国際打楽器コンクール第1位等、国内外コンクール多数受賞。2018年 JT ホールにてデビューリサイタル、2019年サントリーホールブルーローズにて CD 発売記念リサイタルを開催。コジマ録音より CD「インプレッシヴ！」発売中。2023年王子ホールにて3回目のリサイタルを行い、E.セジヨルネ氏への委嘱作品等演奏し好評を博す。河野真紀子、上野信一、木次谷紀子、平子ひさえ、神谷百子の各氏に師事。上野信一&フォニックス・レフレクション所属。(公社)日本演奏連盟会員、日奥文化協会、日本音楽舞踊会議等会員。



④安藤 友里恵(あんどう・ゆりえ：ソプラノ)

神奈川県出身。国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業。同大学院声楽専攻歌曲コース修了。二期会オペラ研修所第66期マスタークラス修了。神奈川県同調会主催「第48回くにたち音楽大学新人演奏会」に出演。これまでに飯田聖美、小泉恵子、宮本益光、山下浩司、盛田麻央の各氏に師事。横浜少年少女合唱団スタッフ。二期会準会員。

④B:木俣 櫻子(きまた さくらこ：伴奏ピアノ)

4歳よりピアノを始める。神奈川県出身。国立音楽大学演奏創作学科鍵盤楽器専修ピアノ専攻卒業、同時にアンサンブル・ピアノコース修了。同大学院音楽研究科修士課程器楽専攻(伴奏コース)修了。第13回フレッシュ横浜音楽コンクールにて、銀賞受賞。これまでに吉田純、笠間春子、前田健治、花岡千春の各氏に師事。現在、声楽や器楽との共演等、幅広く演奏活動を行なうほか、音楽教室にて講師を務める。TOKYO FM 少年合唱団 ピアニスト



⑤夏目 明歩(なつめ・あけほ：ソプラノ)

国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業、及びオペラ・ソリスト・コース修了。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻オペラコース修了。第34回日本クラシック音楽コンクール声楽部門・大学女子の部 第5位。学部4年次からウィリアム・マッテウツィ声楽特別レッスンを受講。国立音楽大学第112回ソロ・室内楽定期演奏会、学部卒業時には成績優秀者による卒業演奏会に出演。大学院オペラ《ドン・ジョヴァンニ》においてドンナ・エルヴィーラ役を演じる。これまでに声楽を大竹典子、佐藤ひさら、平井香織に師事。

⑤B:関水 陽香(せきみず・はるか)：伴奏ピアノ ※3P. ②B:参照



⑥六重奏：D. シュナイダー バストロンボーン協奏曲「サブゼロ」

左より 福家 平良／安田 早奈恵／高野 桃／今岡 周太郎／瀬戸 陽菜／三浦 侑晟

⑥-1:今岡 周太郎(いまおか・しゅうたろう：バストロンボーン)

熊本県出身。2024年7.8月、台湾国家青年交響楽団のツアーで台湾、シンガポール、タイでの5公演に参加。同年11月、第7回日本トロンボーンコンペティション《カルテット部門》で第2位を受賞。第116回ソロ・室内楽定期演奏会に出演し、Daniel Schnyderのバストロンボーン協奏曲「subZERO」を演奏。第17回日本トロンボーン学生音楽コンクール《独奏部門》で第1位を受賞。第8回日本トロンボーンコンペティション《カルテット部門》で第1位を受賞。これまでにトロンボーンを山田善裕、バストロンボーンを黒金寛行の各氏に師事。現在国立音楽大学演奏・創作学科管打楽器専修バストロンボーン専攻4年在学中。

⑥-2:瀬戸 陽菜(せと・ひな：マリンバ)

大分県出身。藤蔭高等学校卒業。第25回記念九州音楽コンクール 審査員特別賞。これまでに打楽器を塚越慎子、守田智紀子、伊藤拓也の各氏に師事。現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修（打楽器）3年在学中。

⑥-3:安田 早奈恵(やすだ・さなえ：ヴァイオリン)

2歳よりヴァイオリンを始め、7歳で奈良県立 Jr. オーケストラ入団。竹吉さやか、永峰高志、漆原啓子の各氏に師事。全日本弦楽コンクール 2021 第5位ほか、多数入賞。現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修ヴァイオリン専攻在学、弦管打楽器ソリストコース在籍

⑥-4: 福家 平(ふけ・たいら : コントラバス)

東京都出身。13歳よりコントラバスを始める。2018年よりジュニア・フィルハーモニック・オーケストラに所属。第2回中学生・高校生のためのコントラバス・ソロコンテスト、高校生部門で金賞を受賞。高校時代にジャズに出会い、国立音楽大学演奏・創作学科ジャズ専修に入学。現在4年次在籍。弦楽器オーケストラプレイヤーコースを履修し、現在もジャズとクラシックの双方で活動している。これまでにコントラバスを池松宏、信友裕子の各氏に、ジャズベースを井上陽介、金子健の各氏に師事。

⑥-5: 高野 桃(たかの・もも : ピアノ)

東京都出身。3歳よりピアノを始める。国立音楽大学附属中学・高等学校を経て、国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)を卒業。同時に作曲理論コースを修了。2026年、京都フランス音楽アカデミー修了。管楽器とピアノのためのコレペティトール・マスタークラスなどを受講。現在はソロおよびアンサンブルを中心とした演奏活動を行っている。これまでにピアノを菊地真美、菊地珠里、吉川あやの各氏に、作曲理論を今村央子氏に師事。

⑥-6: 三浦 侑晟(みうら・ゆうせい : 打楽器)

2002年生まれ23歳。横浜市出身。横浜創英高等学校卒業。2025年7.8月に行われた台湾国家青年交響楽団の台湾、日本のツアーに参加。打楽器を目黒一則、塩田拓郎氏に師事。現在は横浜市を拠点に演奏活動や指導を行っている。



⑦宮田 結菜(みやた・ゆな : ソプラノ)

国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業、同大学大学院修士課程音楽研究科声楽専攻オペラコース修了。第111回ソロ・室内楽定期演奏会、第49回東京同調会新人演奏会に出演。学部4年次よりウィリアム・マッテウツィの特別レッスンを受講。大学院オペラにて、モーツァルト作曲《ドン・ジョヴァンニ》ドンナ・アンナ、《魔笛》夜の女王役を演じる。第41回ソレイユ声楽コンクール入選。これまでに声楽を秋山理恵氏に師事。

⑦B: 関水 陽香(せきみず・はるか) : 伴奏ピアノ)

※3P. ②B: 参照



⑧野原 章史(のほら・あきふみ : ピアノ)

4歳よりピアノを始め現在、米津真浩氏、奈良井巳城氏に師事。

全日本学生音楽コンクール第72回全国決勝大会入選 ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会A1級、B級、C級、D級ベスト賞

第7回バッハコンクール全国大会金賞・曲目賞・バーレンライター賞
第2回 JPPA ピアノコンクール全国大会金賞・大賞 第27回ちば音楽コンクール C 部門1位・最優秀賞
バーゼル国際ピアノコンクール (Switzerland) C部門2023年入選 (High score winners)

2024年第3位 D部門2025年第4位 国際ソリストコンクール2025年第2位 第5回ブダペスト国際ピアノマスタークラス (Hungary 国立リスト音楽院) 受講、

ニュルンベルク音楽大学 (Germany) 特別レッスン受講、ポーランド国立フレデリック・ショパン音楽大学ピアノ科・弦楽室内楽科長の Joanna Maklakiewicz 教授の指導を受ける。



⑨落合 真悟 (おちあい・しんご：チェロ/ビオラ・ダ・ガンバ)

5歳よりチェロを始める。東京春音楽祭「リッカルド・ムーティ イタリア・オペラアカデミー」、堀米ゆず子アカデミーオーケストラ等音楽祭に参加。現在モダン・チェロ、バロック・チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバで演奏活動をおこなう。日本演奏家コンクール弦楽器部門第3位、特別賞、仙台K音楽コンクール、大阪国際コンクール等に入賞。早稲田大学文学部哲学科卒業。桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程チェロ専攻修了。チェロを植草ひろみ、安田謙一郎、北本秀樹、木越洋の各氏に師事。室内楽を磯村和英、練木繁夫の各氏に師事。現在同大学古楽器科においてバロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバをエマニュエル・ジラルール氏に師事。



⑩岩石 智華子 (いわいし・ちかこ：メゾソプラノ)

神奈川県出身。桐蔭学園高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了。声楽を稲葉明子、三縄みどり、手嶋眞佐子の各氏に師事。第68回全日本学生音楽コンクール第3位、第16回日本演奏家コンクール第1位を受賞。これまでに藝大大学院オペラ『フィガロの結婚』で花嫁役、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ役を演じるほか、びわ湖ホールでは『三文オペラ』ジェニー役で出演。ベートーヴェン「第九」「ミサ曲ハ長調」やヘンデル作曲モーツァルト編曲版「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」等のアルトソリストを務める。CD「高橋雅光童謡曲集 どんぐりっこのメロディ」「岩石智華子が歌う高橋雅光の歌曲の世界」をALM Recordsよりリリース。

⑩B:田中 礼二郎(たなか・れうじろう：伴奏ピアノ)

日本大学芸術学部卒業。2009年度ピアノオーディション東関東Aブロック、ヴィルトゥオーズ部門グランプリ。千葉市長賞。千葉県知事賞(大賞)。2006年～2007年、フランスのニース・クールシュベルの音楽研修に参加。現在、ソロ活動の他、合唱団や歌の伴奏者として活躍中。2022年「高橋雅光童謡曲集—どんぐりっこのメロディ」のCD制作で、20曲全曲のピアノ伴奏を担当。また「岩石智華子が歌う 高橋雅光の歌曲の世界」全12曲全曲のピアノ伴奏も担当。CDを“ALM Records”よりリリース、ネット販売中。日本音楽舞踊会議理事・事務局長・季刊「音楽の世界」誌編集委員。



《曲目解説 中島 洋一 他》

①は全演奏曲目が CMDJ 会員で作曲家の浅香満氏の作品で占められておりますので、作品を最も深く知る作曲家ご自身に楽曲解説をお願いしました。しかし①-1『三つのこもりうた』よりは回答がなかったので省きます先入観に囚われず、自由に音楽を楽しんでください

①-2 「くものおふね」「母」(詩：ばんどうさとみ)「秋の夜」作曲：浅香満

黒木瞳さんは言わずと知れた大女優ですが、古くからの友人であるばんどうさとみさんもテレビや映画で活躍され、女優を本業(芸名は別になりますが本人の希望で明かせません)とされています。幸薄い役柄が多い(絞殺される、毒を盛られる、川に身投げする等、とある人気刑事ドラマでは冒頭から霊安室で死体として横たわっていたこともあります)のですが、本人はいたって明るく、また霊を見ることができ霊と会話もできるという特殊能力をお持ちで、常人では思いつかない発想に驚かされることしばしばありましたので、「現代の子守歌」という友人の企画のためにユニークな内容を期待して作詩を依頼してみました。当時、結婚されてから長らく子供に恵まれないことが彼女の最大の悩みでしたので、この依頼は「嫌がらせ」とも受け取られそうでしたが快諾してくださり、その結果、珠玉の3編の詩をいただきました。したがって「まだ見ぬ我が子へのメッセージ」であり、今夜はそのうちの第2曲と第3曲なのですが、特に「母」は産まれてくる赤ちゃんに対しての「自分」であると同時に、かつて自分が赤ちゃんであった時の「自分の母」にも思いを馳せ、いわば「ダブルの母」の愛情が交錯する濃密な内容となっており、ばんどうさんならではの感性が光り「普通とは一味違う」という期待に見事に応えてくださいました。この作品は12月24日のクリスマスイブに脱稿し、詩の完成と同時にばんどうさんの妊娠が発覚するというおめでたいおまけまでつきました。対して黒木さんの方は「大人の香り」が匂い立つ妖艶な感性に彩られています。今回の選曲は砂田萌さん自身によるもので、オペラ、ミュージカルの分野で活躍を期待され、即ち「演じる」という観点から二人の女優の対照的な詩による拙作を選ばれたものと想像しております。雨宮南月さんの絶妙なピアノ伴奏のもと、どのような世界を展開してくださるのかとても楽しみにしております。余談になりますが、砂田萌さんの出身地、大阪の高槻は私の本籍地でもあります。(浅香 満)

②R. シューマン：『5つの陽気な歌』作品125より 1 海の妖精、3 若き諸民族の歌、5 春のよろこび

ロベルト・シューマン(1810-1856)は19世紀前半において、ドイツ・ロマン派を代表する作曲家の一人ですが、自身が師事したピアニスト：フリードリヒ・ヴィークの娘クララと恋仲となり、師の反対を押し切って結婚したことはよく知られています。また、自身が創刊した音楽雑誌「新音楽時報」でブラームスを紹介し、ブラームスを世に出しましたが、「新音楽時報」は現在においても健在です。

しかし彼は40年代に入ると精神疾患を患い、一時は回復したものの、1854年2月にはライン川へ投身自殺を図り一命はとりとめたものの、1856年に46歳で没しています。

作品25の「5つの明るい歌」は、精神疾患の苦痛から逃れようとするかのような明るい歌で構成されていますが、今回はその中から1 海の妖精、3 若き諸民族の歌、5 春のよろこび の3曲を演

奏します。

1 海の妖精は右手の和音の節奏に乗って歌い出すが、海の妖精と云っても必ずしも神秘的、幻想的ではなく、明るく楽しく歌います。

3 若き諸民族の歌が原語の **Jung Volkers Lied** を邦訳とすると“ユング・フォルカーの歌”となります。それで、私は“ユング・フォルカーの歌”として一筆します。ピアノの急速なスケール音型に誘発され、歌唱部は力強く勇壮に歌い出しますが、確かに所民族のエネルギーとユーモラスな明るさが表現されているようでもあります。

5 春のよろこびはこの曲集の終曲です。爽やかな春の香りを漂わすピアノの春風を背景に歌は春の喜びをこめて歌います。この曲は前に歌われた2曲に比べ情緒性に富んでおり、聴き手を春のよろこびの世界に導いてくれるかのようです。

③C. Z. マルヤン 「レムリア」 ～滅びた文明～

チャバ・ゾルターン・マルヤン (1983～) ハンガリー生まれの作曲家兼打楽器奏者です。

「レムリア」 ～滅びた文明～は、海に沈んだレムリア大陸の伝説を題材に作曲された、マリンバとヴィブラフォンによるデュオの作品ですが、マリンバの独奏曲として演奏される機会が多く、本日の演奏者、若崎そらさんのアルバムにも収録されています。

なお、1950～60年代になると、地球の表面は厚さ 100Km程度の十数枚のプレート（岩盤）に覆われ、それがマントル対流によって動くとする大陸移動説が科学的に証明され、レムリア大陸の存在は否定されますが、海に沈んだ大陸の物語は芸術家の想像力を刺激し創作意欲をかきたてます。

この作品も作曲者のそのような心が生み出したものでしょう。

「レムリア」 ～滅びた文明～は、以下の3つの部分から構成されています。

前半は静かに始まり、情趣豊かな楽想が続きます。まだ海の底に沈んで行くことを知らない人々の平和で心豊かな生活を描いているかのようです。中盤になるとテンポが速くなり、バチを鍵盤に強く叩きつけるような激しい表現が続きます。沈んで行く大陸と運命をともにする人々が恐怖と不安でパニック状態になっているかのようです。終盤は海に沈んでしまった大陸と人々を悼むかのよう静寂で始まり、最後は鎮魂歌のようなカデンツで曲を閉じます。

この作品の全体を弾きこなすには、高い技術と表現力がりますが、岩崎そらさんの演奏に期待したいと思います。

④C. ドビュッシー 『ヴァニエ歌曲集』より マンドリン、アリエルのロマンス

クロード・ドビュッシー (1862-1918) は、フランス近代を代表する作曲家ですが、歌劇、管弦楽、室内楽、ピアノ曲などとともに、歌曲においても多くの傑作を残しています。また、彼は10代の作品においても、古典的な和声手法に囚われないユニークな和声手法を取り入れ、微妙な色彩感を伴う感性の世界を表現しています。

『ヴァニエ歌曲集』は10代の終わりから20代の修行時代(1880年～1884年頃)に、当時の恋人であったソプラノ歌手マリー・ヴァニエ夫人に捧げた13曲からなる私的な歌曲集で、本日はその中から3曲目の“マンドリン”と12曲目の“アリエルのロマンス”を演奏します。

「マンドリン」はアレグロ 6/8 で書かれています。マンドリンの響きを模したピアノのアルペジオに乗って、男は集まった女たちに向けて自分のロマンスを歌いますが、それは女たちの心に響

かず、焦った男は、急激な転調をとめないながら早口に歌いまくりす。それでも女たちの心には届かなかったようで、“マンドリンはそぞろに響く”という言葉と冒頭のト音のフェルマータが再び現れ曲を閉じます。

ピアノが奏でる美しい分散和音を背景に“静かな山々に沿って、答えて、アリエルの呼び声に”にと、情緒たっぷりに歌い始める「**アリエルのロマンス**」は、「マンドリン」とは対照的で、心に響く恋の歌です。13曲の中から対照的な二曲を選んでプログラムを組んだ演奏者の工夫に拍手を贈りたいと思います。

⑤V. ベッリーニ 歌劇《清教徒》より “あのお方の優しい声”

ヴィンチェンツォ・ベッリーニ（1801-1835）は、ロッシーニ、ドニゼッティと共に19世紀前半のイタリアオペラ界を代表する作曲家で、34才の若さで没しているが10作のオペラ作品を残しています。彼の作品の中でも『夢遊病の女』、『ノルマ』、『清教徒』の3作は特に評価が高く、現在でもしばしば上演されます。『清教徒』は彼の最後の作品で、清教徒革命の指導者クロムウエルの率いる清教徒と スチュアート王朝の確執があり、クロムウエルがネーズピーの戦いで勝利し、共和政府を樹立した1645年頃を舞台とした、清教徒の娘エルヴィラと王家に仕える騎士アルトゥーロとの恋を描いたメロドラマです。

“あなたの優しい声”は、アルトゥーロに捨てられたと思ひ込み気が狂ったエルヴィラが恋人を想って歌う、変ホ長調4/4拍子で書かれた美しい旋律をともなった叙情的なアリアである。途中で変ロ長調6/8になった部分は、狂った彼女が叔父に声を掛けられても誰か判らず、恋人と思い「私を結婚式に連れて行って下るのね」と喜ぶところである。このアリアは恋に狂った女のいじらしさと可愛らしさがよく表現されたアリアであり、この後変イ長調で歌われる対のアリアと併せ「狂乱の場の歌」として『ノルマ』のアリアと双璧をなすものでしょう。

⑥<六重奏 D. シュナイダー バストロンボーン協奏曲「サブゼロ」

ダニエル・シュナイダー（1961~2026）は、スイスのチューリッヒで生まれ、ジャズ、クラシックの両分野で活躍する木管奏者（主にサクソ）兼作曲家です。活動の場は主にアメリカですが、自分自身が演奏する楽器以外の大作も手がけています。

中でも1999年に作曲された、**バストロンボーン協奏曲「サブゼロ」**は、現代の**バストロンボーン**ソリストの定番となっています。

この作品は、4/4 ♩=132の第一楽章、2/4 ♩=66で「Sami Thaqil」（サミ・ダキル※原語はインドネシア語のようです）と表記された第二楽章、再び4/4 ♩=132に戻り、「Zoom Out」と表記された第三楽章つまり、急→緩→急の3つの楽章から成っていますが、実際には第一楽章のボリュームが圧倒的で、全曲の半分以上を占めています。作品は**バストロンボーン**ソリストの定番として評価されているだけに広い音域を有するこの楽器を最低音から高音まで使い切り、また様々な奏法を取り入れ、高い演奏技術と表現力を必要とする難曲ですが、それだけに奏者にとって挑戦し甲斐のある作品となっています。

それだけでなく、他の5人の奏者にもそれぞれ聴かせ場が用意されています。オケの代用であるピアノは勿論ですが、第二楽章でバストロンボーンに対抗し、美しい旋律を奏でるヴァイオリン、時々合いの手を入れて音楽を盛り上げる、マリンバや打楽器なども、緊張感とアンサンブルの楽しさを味わえる作品となっています。

本日唯一の大編成のアンサンブルの演奏をどうぞお楽しみください。

⑦A. サリエリ 歌劇《見出されたエウローパ》より

“神々よ 私はやっと息ができる… ああ、はっきりと感じる”

アントニオ・サリエリ（1750- 1825）はイタリアの作曲家ですが、ウィーンの宮廷楽長として迎えられ、18世紀終わり～19世紀初頭において、ヨーロッパの楽壇の頂点に立った人物です。

イタリア人のサリエリがウィーンにおいて宮廷楽長として君臨したことで、ドイツ、オーストリア系の作曲家から自分たちの活躍の場がなくなると不満の声も出たいたようで、同時代に活躍した天才作曲家モーツァルト（(1756- 1791)）も「自分がウィーンで活躍の場が得られないのはサリエリが邪魔しているからだ」と主張したという話が残されています。

そういうこともあって、モーツァルトの死後、サリエリについて「モーツァルトを暗殺した男」という噂が広く流れ、ベートーヴェンにまでサリエリについて「モーツァルトを暗殺した男」と言わせるほどでした。

勿論、それは事実でなく、ヨーロッパの楽壇において名声と権力を手にしていた彼には、モーツァルトを怨んだり、嫉妬したりする理由には特にはなかったと思われます。

歌劇《見出されたエウローパ》は、しばらく歌劇の作曲から遠ざかっていた彼が4年振りの1778年に書いた歌劇で1778年8月3日にミラノで初演されています。

“神々よ 私はやっと息ができる… ああ、はっきりと感じる”はこの歌劇（オペラ・セリア）の第二幕でエウローパが歌うアリアです。残念ながらこの作品の生演奏を鑑賞したことも、手許に楽譜ありません。まずレチタティーボで始まり、ト長調に落ちおつきアリアに入ります。途中でニ長調に転調し、再びト長調へもどり、最後のコロのカデンツでは、なんと『魔笛の』“夜に女王のアリア”の最高音3点Fより、全音高い、3点Gが歌われます。この音はサリエリの原譜に書かれた音ではなく、歌手が任意に歌った音と思いますが、この作品は世間一般で天才：モーツァルト、凡才：サリエリという先入観が支配している中、そのような先入観を吹き払う、厳かで堂々とした作品と受け止められました。本番の宮田さんの演奏を楽しみに待ちましょう。

⑧ハンガリー狂詩曲第2番 S.244 嬰ハ短調

フランツ・リスト(1811-1886)は、ハンガリー王国出身でヨーロッパ各地において活動したピアニスト、作曲家で、ヴァイオニストのバガニーニと並び、19世紀における最も偉大なヴィルトゥオーゾとして音楽史上に名を残す存在であることはよく知られています。

ハンガリー狂詩曲は1848年～1885年にかけて19曲作曲されているが、今回はその中でもよく知られた第2番を演奏します。

ハンガリー狂詩曲第2番 嬰ハ短調は、2/4 Lento a capriccio（レント・ア・カプリッチョ）で力強く始まります。この作品のテーマ、旋律は聴く立場からすると判りやすく親しみやすいのですが、旋律線が装飾音で飾られた音型の内声に出現したりして演奏する方の立場から云うと、旋律線を浮き立たせながら、鮮やかに演奏しきるのは、なかなか難しいところです。聴き手の音楽を聴く喜びをより高めながら、技術的に破綻せず、豊かな表現力を保つことは、プロとして演奏活を続けるためには、乗り越えて行かなければならない演奏曲の一つでしょう。昨年につき、このコンサートに再度挑戦する野原章史の成長に期待したいと思います。

⑨M. マレ 『ヴィオール曲集第4巻』

異国趣味の組曲より：26. アラベスク／組曲第4番 イ短調より：ミュゼット I. II

マラン・マレ（1656-1728）は、フランスの作曲家、指揮者、バス・ヴィオール（ヴィオラ・ダ・ガンバ）奏者です。作品にはオペラなどもありますが、優れたヴィオール奏者、そしてヴィオールの指導者としても知られていた彼には、ヴィオラ・ダ・ガンバを含むヴィオール族の楽器のための作品が多く、ヴィオール曲集は第1巻から第5巻まであります。

今回は1717年に出版されたヴィオール曲集（第4巻）から、**異国趣味の組曲より：26. アラベスク**と、**組曲第4番 イ短調より：ミュゼット I. II** の作品を演奏します。

異国趣味の組曲より：26. アラベスクはホ長調6/8で始まるリズムのはっきりした作品で、聴きやすい作品と感じました。

組曲第4番 イ短調より：ミュゼット I. II はイ短調2/2で始まりますが、ガンバの柔らかくて、情趣豊かな音色が感じられました。それから、今作品は A(ミュゼット I)→トリオ(ミュゼット II)→A(ミュゼット I)というように、2曲を一体化して演奏出来るようです。

しかし、17世紀の古楽器の楽譜は古典派などの楽譜と違い、表記の仕方が異なるようで、研究しない読みにくいです。ただ、ヴィオール族の楽器は、ヴァイオリン族の楽器に比べ、輝かしい表現や、ダイナミックレンジを広げ、強弱の対比を明確にする表現は苦手かも知れませんが、アンサンブル楽器として、ヴァイオリン族とはまた違った魅力を感じさせるものがあります。

落合氏には、これからもチェロとビオラ・ダ・ガンバの二刀流で道を極めて行って欲しいと願っています。

⑩A：高橋雅光作曲：「春～さくらに寄せる[3つの短歌]」

①「花醍醐」②「夜桜幻想“清水へ”」③「行く春へ」

⑩の最初の演奏曲は、音舞会（CMDJ）会員で、現役の作曲家の作品ですので一番作品を深く知る、作曲者ご自身に楽曲解説を書いてもらいました。

「春～さくら」に寄せる3つの短歌（曲目解説）

もともと旋律部分が作曲されていた、「夜桜幻想—清水へ」を中心に、「春～さくら」に因んだ現代短歌に作曲をする予定で、歌人150人の歌、3000首を読んだ中から、中原紫苑女史の作品5首から「花醍醐」を選び作曲をしました。

「花醍醐」＝吉野山の満開の桜の美しい醍醐味。今まで知らないで過ごしてきたが、吉野の3日間、それを知った今私の黒髪には、白いものが混じる年になってしまった。

「夜桜幻想“清水へ”」＝祇園から清水へ、満開の桜が、春の宵の淡い月の光に、浮かび上がり、着物に洋装にと、賑やかに多くの人々が「笑みを浮かべながら、行き交う様子が美しい。

「行く春へ」＝恋い慕う人への想いは、山桜の花びらが、春の名残を惜しむかのように、散り行く様子と重なり、過ぎてゆこうとする儂い想いは、悲しく淋しい。

作曲者自身が、女性に向けて、短歌を詠みました。

⑩B：G. ドニゼッティ 歌劇《ラ・ファヴォリータ》より“わたしのフェルナンド”

《楽曲解説 岩石 智華子》

Omio Fernando は、ガエターノ・ドニゼッティ（1798-1848）が作曲したオペラ《La Favorita（フ

ァヴォリータ)》第3幕で、レオノーラが歌うメゾソプラノのアリアである。

物語の舞台は14世紀スペイン。王の愛妾であるレオノーラは、その身分を知られることがないまま、修道士フェルナンドと相思相愛の関係に至る。レオノーラを得るため修道院を去ったフェルナンドは、戦功を立て、その褒美として国王に彼女との結婚を願い出る。このアリアは、フェルナンドとの結婚が認められたことを知り、喜びを覚えるも、国王の愛妾であることへの苦悩に揺れ動く、レオノーラの複雑な心情が歌われる。

音楽はドニゼッティ後期の円熟したベルカント様式を示し、広い音域と豊かなレガート、繊細なダイナミクスが求められる。緊迫したレチタティーヴォに続き、祈るように静かに始まる旋律は、次第に情熱と絶望を帯び、クライマックスでは劇的な高まりを見せる。レオノーラの内面的葛藤が余韻深く描き出されている。

高度な技巧と深い表現力の双方が求められるこのアリアは、メゾソプラノにとって重要なレパートリーとして広く親しまれている。

※今までは、私では資料が手に入らない現代作品を演奏するような場合、希に演奏者に楽曲解説の執筆をお願いしたことがありましたが、今回は大トリとして最後に舞台に立つメゾソプラノの岩石智華子さんに楽曲解説をお願いしてみました。これからも少しずつこのような機会を増やして行こうと考えています。 (中島洋一)



特集 Fresh Concert -CMDJ 2026-出演者に訊く！

出演者に訊く！」シリーズは、第5回目の開催年2007年から開始されました。第1回～第4回までは座談会を開いてそれを記事にしておりましたが、座談会だと本人の都合で参加出来ない出演者画多かったため、第5回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答を『音楽の世界』に掲載するようにしました。しかし、2015年4月から『月刊：音楽の世界』が季刊に移行したため、2016年度からは、コンサートのプログラムが掲載されているこの演奏会用パンフレットに、出演者の略歴、楽曲解説と併せて掲載するようになり、今回はアンケート方式を採用してから、16回目となります。以下が、今年用意したアンケート項目です。

【メッセージ】

1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想いを、メッセージに込めて表現してください。

(※1: メッセージの後に、ご自身のサイト(ホームページ、ブログ)などをお持ちの方は、積極的にURL(アドレス)を紹介することを奨めます。もちろん気が進まなければ、掲載しなくてもよいです。)

【アンケート 2. ～7.】

2: 音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

3: 特に取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

4: 物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

5: 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもよいです。)

6: 精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換の方法は？

7: その他(書きたことをなんでも書いて下さい。書かなくともよいです)

1: はこのコンサートに寄せた各出演者のメッセージであり、毎回掲載していますが、さすがに、各自の演奏に対する意気込みが伝わる力がこもった文が多いようです。

2: ～3: は、過去にも何度か取り上げた質問項目です。それぞれの出演者の当面の研究目標が述べられています。

4: 物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

これは本年設定した質問項目ですが若い音楽家にとって切実な問題でもあれています。出演者それぞれがどのように答えるか注目してください。

5: は10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？という質問ですが、ここでも浮かれたところはなく、「出来れば10年後も音楽を中心とした生活を続けていきたい。」という控えめな回答が多かったようです。「もっと夢があってもよいのでは」お感ずる方もいらっしゃるかも

しませんが、今の若者が現実の厳しさについて目をそらさず見つめているのかもしれませんが。

6：精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換の方法は？これも本年初めて設定された質問項目です。気分転換の方法は、それぞれの出演者がユニークな回答をしているので、とても興味深く感じました。

7：については、殆ど書き込みがありませんでしたが、1. ～6. までかいとうしたので、もう十分と思われた人が多かったのかもしれませんが。

それでは、以下に出演者全員の回答を掲載致しますので、個性豊かな個々の出演者の回答に目をお通しください。

①砂田 萌（ソプラノ）

1：今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想いを、メッセージに込めて表現してください。

特に三曲目に歌う「秋の夜」は、女優・黒木瞳さんによる作詞の作品で、繊細な言葉選びの中にしっとりとした艶やかさが感じられる、とても魅力的な歌曲です。この度、作曲家の浅香満先生からご推薦をいただき、先生の作品を演奏させていただくことになりました。今を生きる作曲家の作品を演奏できるという、またとない機会をいただき、とても光栄に感じていま日本歌曲は昨年から取り組み始めたばかりのジャンルですが、日本語ならではの言葉の美しさを、歌を通してお伝えできるよう心を込めて歌いたいと思います。

2：音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

音楽は、私にとっていつも希望を与えてくれる存在です。

音楽に向き合う時間は、楽しい時ばかりではありません。思うように歌えず、自分に満足できないこともあります。それでも音楽は、どんな時でも私のそばにあり、前を向く力を与えてくれます。だからこそ私は、これからも音楽と向き合い続けていきたいと思っています。

3：特に取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

私は現在、ブロードウェイのミュージカルの舞台に立つことを目標に、そのための留学に向けて勉強に励んでいます。近年のブロードウェイミュージカルでは、地声を多く用いたエネルギッシュな歌唱や、マイクを前提とした表現が主流となっています。

そのため、従来の声楽的な発声だけでなく、地声を生かした発声法や、マイクを使った歌唱表現についても深く研究していきたいと考えています。ミュージカルというジャンルの中で、より自由で説得力のある歌唱表現を身につけることが今後の目標です。

4：物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

物価高の中で音楽活動を続けるためには、自分にとっての優先順位を考えながら取捨選択していくことが重要だと考えています。また、SNSなどを活用して演奏動画を発信し、多くの人に自分の音楽を知ってもらう機会を広げていきたいです。

5：10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

10年後の私は、ブロードウェイの舞台に立つという夢に向かって挑戦を続けながら、海外で舞台活動をしていきたいと思っています。

たとえその夢がまだ実現していなかったとしても、自分がしてきた選択を「良かった」と思える人生を歩んでいきたいです。結果だけではなく、挑戦することを恐れず、自分の信じた道を進み続ける人でありたいと思っています。

6：精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換の方法は？

映画を観たり日記を書いたりして、自分の気持ちと向き合う時間をつくります。そうすることで感情の変化を整理し、自分の内側の声を大切にするようにしています。

②伊藤 優希 (ソプラノ)

1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想い、メッセージに込めて表現してください。

今回演奏する曲目は、大学院で取り組んでいた R. シューマンの後期作品をきっかけに選曲しました。R. シューマンというと、歌曲の年に作曲されたミルテの花 op. 25 や詩人の恋 op. 48 がよく知られていますが、シューマンは生涯を通して歌曲を作曲していました。この作品はシューマン後期の歌曲ですが、「陽気」という言葉は単に楽しいという意味ではなく、軽やかに親しみやすい性格を表しています。幻想的な世界や民謡風の歌が並び、晩年のシューマンの簡素な音楽の魅力を感じて頂けるように演奏します。

2: 音楽はあなたにとっていかなるものですか。

音楽は幼い頃から身近にある存在で、改めて自分にとっていかなるものか考えるのが難しかったです。音楽は自分にとって軌跡だと思います。あの時はこんな歌をうたっていた、演奏したという積み重ねから、その音楽を聴くと自分が当時何を考えていたか思い出することができます。この軌跡は宝物です。

3: 特に取り組んでみたい研究テーマ。挑戦してみたい作曲家、作品は？

バロック時代の声楽作品に取り組みたいです。C. モンテヴェルディから J. S. バッハにかけてのカンタータやオラトリオで、装飾や歌唱表現と古楽器アンサンブルとの関係に興味があります。

4: 物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

私たちが音楽活動を続けることに経済的負担を感じていると同時に、聴きに来てくださるお客様も物価高の中で大変な状況にあると思います。そのような状況でも音楽活動を続け、楽しんでいただけるように、感謝の気持ちを持ちながら無理のない範囲で活動していきたいです。

5: 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

10年後は地元の音楽活動を盛り上げられるような、影響力のある人間になりたいと思います。

6: 精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換方法は？

とにかく食べたいものを食べます！我慢せずに、思い浮かんだ好きなものをたくさん食べると嫌なことも忘れられます。

③若崎 そら (マリンバ)

1: 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想い、メッセージに込めて表現してください。

高校生の際に初めてリサイタルを行う切っ掛けとなった曲の作曲家であるマリヤンの作品は、高い技術力を持って世界観を表現していかなければいけない為、当時の私はかなり苦戦しておりました。今回は以前とは別作品を演奏させていただきますが、この曲が持つエネルギー、そして私が心の中で描く壮大な風景を皆様にお伝え出来ましたら嬉しいです。

2: 音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

生活の一部です。

3: 特に取り組んでみたい研究テーマ。挑戦してみたい作曲家、作品は？

打楽器は数えきれない程の楽器が有る為、マリンバだけでなく民族楽器等も挑戦してみたいです。

4: 物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

家族が音楽に理解が有るため、許される限り音楽活動に重きをおきたいです。

5: 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

大学生活と演奏活動の両立が難しく、大学生の時に腕を故障してから長時間の練習が難しくなったことに加え、20歳過ぎてから徐々に身体の衰えを感じ初めているので、なんとか運動の習慣をつけて健康に演奏活動を続けられると良いなと思っています。

6:精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換方法は？

音楽を聴く、ゲームをする、漫画を読む

④安藤 友里恵(ソプラノ)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想い、メッセージに込めて表現してください。

この度は、フレッシュコンサートに出演する機会をいただき、大変嬉しく思います。

今回は、C.ドビュッシーが20歳頃に作曲した歌曲を2曲お届けいたします。これらは、ドビュッシーが初めて恋に落ちた女性、ヴァニエ夫人に捧げられた作品です。彼女は聡明で、アマチュアながらもプロに引けを取らない高音域の声を持っていました。幻想的なドビュッシーのメロディと、ヴァニエ夫人の美しい女性像を、歌曲を通して感じていただけたら幸いです。

2:音楽は、あなたにとっていかなるものですか

私にとって音楽は、人と人との縁を生み、つないでくれる大切な存在です。

ここまで音楽を続けてこられたのも、これまで出会った多くの方々を支えていただいたからだと感じています。音楽を通して生まれたご縁を大切にしながら、これからも音楽を通して多くの方と想いを分かち合っていきたいと思っています。

3:特に取り組んでみたい研究テーマ。挑戦してみたい作曲家、作品は？

大学院では、オラトリオやミサ曲などを勉強する機会を多くいただきました。バッハやヘンデルなどの少し古い時代の宗教作品に多く取り組んでみたいです。

4:物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにとっていききたいと考えていますか？

社会状況の変化の中でも、その時々何に優先するべきかを見極めながら、音楽活動を大切に、長く続けていける形を模索していきたいと考えています。

5:10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

音楽を通してこれからもご縁が広がり続けていくのではないかと思います。そうしたご縁を大切にしながら、どのような形であっても音楽と関わり続けていられたらと思っています。

6:精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換方法は？

やはり、歌うことでしょうか。家族と喧嘩をしても、数分後、鼻歌を歌ったりしている自分がいます。それでもどうしようもない時は、寝ることが一番と思います。

⑤夏目 明歩(ソプラノ)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想い、メッセージに込めて表現してください。

この度は、このような素晴らしい演奏会に出演させていただけることを大変嬉しく思っております。今回歌わせていただくオペラ《清教徒》のアリアは、いわゆる「狂乱の場」と呼ばれる場面です。エルヴィーラが恋人アルトゥーロに裏切られたと思い込み、その衝撃から正気を失い、現実と幻想の間をさまよいつつ、愛する人への思いを歌い上げます。

私自身、大学院の研究においてオペラにおける「狂乱の場」をテーマに取り上げ、その表現や音楽的特徴について考察してまいりました。研究を通して得た視点も大切にしながら、この場面に込められた人物の心の揺らぎや感情の変化を、音楽を通してお届けできればと思っています。

2:音楽は、あなたにとっていかなるものですか

心を支えてくれる大切なものですが、同時に自分の未熟さを突きつけられる厳しい存在でもあります。しかし私の人生にとって、なくてはならない存在です。

3:特に取り組んでみたい研究テーマ。挑戦してみたい作曲家、作品は？

大学院の修了演奏では、新たな挑戦としてフランス語の作品に取り組みました。実際に取り組む中で、フランス・オペラならではの繊細な音楽表現や言葉の美しさに魅力を感じました。研究して

いく中で、自分の声や表現に合うレパートリーも多いと感じたため、今後もフランス・オペラの作品に積極的に取り組み、研究を続けていきたいと思っています。

4:物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにとって いきたいと考えていますか？

音楽はできる限り大切に優先していきたいと思っています。しかし、自分の生活を蔑ろにし、音楽を憎む存在にはしたくありません。長く音楽と向き合っていくためにも、生活とのバランスを大切にしながら歩んでいきたいです。

5:10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

どのような形であっても音楽を続けていられたら嬉しいと思っています。演奏活動を続けながら、音楽と共に成長し、自分なりの表現を深めていけるような日々を送っていたらと思います。

6:精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換方法は？

音楽の事で落ち込んだ時にはあえてクラシックから離れることがあります。また基本考え込み過ぎる性格のため、映画館に行ったり、本を読んだり等、時間を忘れて何かに没頭することで気分転換をしています。

⑥六重奏

今岡 周太郎／瀬戸 陽菜／安田 早奈恵／福家 平／高野 桃／三浦 侑晟)

※今回は協奏曲のソリスト：今岡 周太郎 (バストロンボーンが六人を代表して回答)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想い、メッセージに込めて表現してください。

今回演奏するダニエル・シュナイダーのバストロンボーン協奏曲「サブゼロ」はクラシックの枠に留まらず、スウィングやアラブ音楽の「ソン」や「サルサ」など様々な要素が使われている曲です。また、編成も唯一無二の室内楽編成になっています。今回の様な特別な機会にこの様な大曲を演奏させていただけること、とても嬉しく思います。バストロンボーンの魅力が沢山詰まったショーをお楽しみください。

2:音楽は、あなたにとっていかなるものですか

私にとって音楽は自分を表現するための1つの道具であり、それがあつて生きていく意味があるような大切なものです。

3:特に取り組んでみたい研究テーマ。挑戦してみたい作曲家、作品は？

トロンボーンではあまり演奏されない、ロマン派の作曲家の曲を取り組みたいです。

4:物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにとって行きたいと考えていますか？

音楽活動というのはもちろん商業音楽が大半を占めていますが、日頃の生活の中でも音楽活動は可能です。最低限の経済生活を行いながら自分のできる表現活動をしていきたいです。

5:10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

プロのオーケストラの団員として活動しながら、自分の音楽をたくさんの人に発信していきたいです。

6:精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換の方法は？

精神的に落ち込むことはありません。疲れた時は家の窓を全開にして、気持ちのいい空気を吸って、美味しいご飯を食べます！

⑦宮田 結菜(ソプラノ)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想いを、メッセージに込めて表現してください。

このような素敵なコンサートで歌う機会をいただけたことを大変うれしく思い、感謝しております。学部生の方々や楽器を専攻されている皆さんの演奏もとても楽しみにしております。演奏する

私たちだけでなく、お聴きくださるお客様にとっても、普段とは少し違うフレッシュな音楽の時間が広がるのではないかと感じております。

今回私が歌うのは、サリエリが作曲したオペラ《見出されたエウローパ》のエウローパのアリアです。この作品は、東洋一とも呼ばれる国立音楽大学の図書館にも楽譜が所蔵されていないほど、日本ではほとんど知られていない作品です。今回演奏するにあたり、自筆譜のフルスコアをもとに、知人にピアノ伴奏譜を作成していただき、ようやく取り組むことができました。

日本ではなかなか耳にする機会のない作品ですが、1778年にミラノ・スカラ座のこけら落としのために作曲されたオペラで、サリエリの中でも大きな作品の一つです。その後200年以上ほとんど上演されることはありませんでしたが、改修を終えたスカラ座が再オープンした2004年、この作品が再演され、劇場の再開を飾りました。

多くの方にとって初めて耳にするアリアかもしれません。だからこそ、私自身の演奏を通して、この作品の魅力やドラマをしっかりとお伝えできるよう努めたいと思います。まだまだ学びながらではありますが、サリエリの美しい音楽と豊かな表現を感じていただけましたら幸いです。

2:音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

私はもともと、音楽が好きだと思ったことはありませんでした。しかし、昔から芸術というものから目を離すことができませんでした。芸術は時として思いもよらない角度から人の心に触れ、救いとなる力を持っていると感じます。その不思議な力に惹き込まれ、気づけば芸術のそばで人生を過ごしたいと思うようになりました。そして、美術・文学・音楽など、様々な芸術が集まるオペラに足を踏み入れてしまい、抜け出すことができなくなりました。

音楽というのは私にとって麻薬とでも言いましょうか。これからも音楽という芸術の中で歩んでいきたいと思っています。

3:特に取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

大学院では、R. シュトラウスのオペラ《ナクソス島のアリアドネ》について研究しました。現在広く上演されているのは1916年の改訂版ですが、この作品には1912年に書かれた初稿版が存在します。修士論文では、なぜ改訂版が定着したのか、また初稿版が本当に「失敗作」であったのかという点について考察しました。その過程で、R. シュトラウスと台本作家のホフマンスタールの関係については比較的深く研究することができましたが、演出家のラインハルトについてはさらに掘り下げる必要があると感じています。今後もこの作品についての研究を続け、いつかツェルビネッタのアリアだけでも初稿版で演奏してみたいと思っています。

4:物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにって行きたいと考えていますか？

音楽活動と経済生活のバランスは、多くの音楽家が向き合わなければならぬ非常に現実的な課題だと思います。これは、私が音楽を「麻薬」と表現した理由の一つでもあります。音楽活動を続けるにも音楽を鑑賞するにも、どうしても多くの費用がかかります。

自分にできることとしては、副収入を得ることや、音楽や自分自身に対する投資以外を節約するなど挙げられると思います。しかし、それだけでなく、音楽の需要を増やしていくという視点も、音楽家が常に念頭に置くべきことです。SNSなども活用しながら、音楽の面白さや魅力を広く伝えていく活動も、これからの音楽家にとって必要なことの一つだと思います。

5:10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

もちろん、オペラ歌手として多くの舞台に出演できていたら、これ以上の幸せはないと思いますが、これまでいただいた先生方のお言葉や考え方、学びを忘れずに胸に刻み、それを自分の中で活かしながら、誰かのために役立てることができていたら嬉しいです。それが10年後の自分として何より望む姿だと思います。

6:精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換の方法は？

普段から睡眠・食事・運動を心掛けているため、精神的に大きく落ち込むことはあまりありません。しかし、体調を崩したときは気持ちも沈んでしまうことがあります。そのような時は無理をせず、しっかり休み、身体を回復させることを大切にしています。

7:その他

演奏の機会を与えてくださった関係者の皆様、ご来場いただいた皆様、日頃からご指導くださっている先生方、共に音楽を学ぶ仲間、そして私を支えてくれる家族に、心より感謝申し上げます。これからも音楽を通して、少しでも多くのものをお届けできるよう努力していきたいと思います。

⑧野原 章史(ピアノ)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想いを、メッセージに込めて表現してください。

このたび「Fresh concert CMDJ2026」に、昨年に引き続き出演させていただけることを大変光栄に思います。

今回演奏させていただくのは、フランツ・リスト作曲のハンガリー狂詩曲第2番です。この作品は、民族的な情熱と華やかな技巧が凝縮された、非常に魅力的な作品だと感じています。ゆったりとした哀愁を帯びたラッサンから、次第に熱狂的なフリスカへと展開していく構成には、物語が進んでいくようなドラマがあります。

私はこの作品を通して、単なる技巧の華やかさだけでなく、その背後にあるハンガリー音楽の情熱や自由な精神を表現できたらと思っています。聴いてくださる皆様に、音楽の躍動感が伝わる演奏をお届けできれば幸いです。

このような貴重な機会をいただいたことに感謝し、精一杯演奏いたします。

2:音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

音楽は、言葉では表しきれない感情や思考を表現できるものだと思います。自分自身の内面と向き合う手段であり、同時に人と人をつなぐ架け橋でもあると考えます。

3:特に取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

今回のリストもそうですが、私は大学生になってからロマン派の作品に向き合っており、フレデリック・ショパンのピアノソナタ第3番 口短調 Op.58に挑戦したいと考えています。構成の大きさと高度な表現力が求められる作品であり、技術面だけでなく音楽的な深さについても、じっくりと研究しながら取り組んでいきたいです。

4:物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

音楽活動を継続していくためには、現実的な生活基盤も大切だと感じています。演奏活動だけでなく、教育や研究など様々な形で音楽と関わりながら、長く音楽に携わり続けられるようなバランスを模索していきたいと考えています。

5:10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

10年後には、さまざまな経験を積み、多くの人に音楽の魅力を届けられる活動をしていたいと思います。また、演奏だけでなく研究の分野でも音楽に関わりながら、音楽文化に貢献できるような存在になれば嬉しいです。

6:精神的に落ち込んだ時、疲れたたりした時の気分転換の方法は？

とにかくよく寝ることです。十分な睡眠をとることで気持ちがりセットされ、前向きな状態に戻ることができると思っています。

⑨落合 真悟(チェロ/ヴィオラ・ダ・ガンバ)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想いを、メッセージに込めて表現してください。

Fresh concert で今年も演奏させていただくことになり大変嬉しく思います。

今まではチェロでの出演でしたが、今年は今勉強しているヴィオラダガンバを弾かせていただくことになり、ホールでどのような響きがするかとても楽しみです。今回演奏するマランマレはガンバのレパートリーの中でもとても重要な作曲家の1人なので、作品の魅力が伝わるように一生懸命演奏したいと思います。

◆筆者のホームページ案内：<https://shingoochiai.com>

2：音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

なくてはならないもの、救い

3：特に取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

マランマレ、フォルクレなどガンバのレパートリーを広げたい。

4：物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたいと考えていますか？

音楽活動と経済活動はとてもバランスが難しいですが音楽活動を続けるために一つのことだけでなく、様々なことをしながらバランスを取れるように頑張りたいです。

5：10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

チェロとヴィオラダガンバを両方演奏していきたい。

6：精神的に落ち込んだ時、疲れたりした時の気分転換の方法は？

読書

⑩岩石 智華子(メゾソプラノ)

1:今回のコンサートへの抱負、演奏する曲への想いを、メッセージに込めて表現してください。

フレッシュコンサートは、大学卒業時の出演以来、7年ぶりとなります。再びこの会場に戻り、演奏の機会をいただけることを大変光栄に感じております。この7年間、さまざまな舞台や経験を重ねる中で、音楽との向き合い方や作品への理解も少しずつ深まってきたように思います。今回のステージでは、その積み重ねを自分なりの形でお届けできればと思っております。今回は、ドニゼッティの《O mio Fernando》と、高橋雅光さんの歌曲を演奏いたします。《O mio Fernando》は、高音から低音まで幅広い音域を要し、緊迫感のある場面から穏やかな抒情まで大きく変化しながら、最後には激しいクライマックスを迎える作品です。学生時代には思うように歌えず、苦しい思いをした曲でもありますが、今の自分だからこそ表現できるものに向き合い、このステージで新たな挑戦としてお届けしたいと思っております。高橋さんの歌曲は、今年リリースしたCD「岩石智華子が歌う高橋雅光の歌曲」より、「春～さくら」に寄せる三つの短歌を演奏いたします。これまで童謡から歌曲まで多くの作品を歌わせていただく中で、その旋律の美しさとことばへの繊細な寄り添いに、深い感動と喜びを感じてきました。これからも大切に歌い続けていきたい作曲家の一人です。春にふさわしいやわらかな響きを、お楽しみいただけましたら幸いです。

2：音楽は、あなたにとっていかなるものですか。

今年で、歌い始めてからの年月が人生の半分を超えました。穏やかな時も、辛い時も、楽しい時も、いつも音楽が隣にありました。私にとって音楽は、あって当たり前存在であると同時に、それがどれほどかけがえのないものであるかを、続けるほどに実感させてくれるものです。

③3：特に取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

大学院では、ブラームスの作品 91 を中心とした、ヴィオラ・オブリガート付き歌曲をテーマに研究しました。同様の編成による作品は他の作曲家にも見られるため、今後はそうしたレパートリーにも積極的に取り組み、表現の幅を広げていきたいと考えています。

4：物価高で国民生活が苦しい中、音楽活動と経済生活とのバランスをどのようにしていきたい

と考えていますか？

物価高の影響が続く中で、音楽活動と経済的な生活とのバランスを取ることは、常に課題であると感じています。そのような状況の中でも、目の前の一つ一つの演奏機会を大切に、自分にできる最善の音楽を誠実に届けていくことが、結果として次の活動へとつながっていくと信じています。また、音楽と向き合う時間を大切にしながらも、柔軟に視野を広げ、持続可能な形で活動を続けていけるよう工夫していきたいと考えています。音楽を続けていくことそのものが価値ある営みであると信じ、その歩みを止めずにいたいと思っています。

5：10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

前回フレッシュコンサートに出演させていただいてから、気がつけば10年近くが経ちました。当時は、今の自分がこのように音楽を続けている姿を想像していなかったように思います。さまざまな経験を経てきましたが、10年後も変わらず、笑顔で歌い続けていられたら、それ以上に幸せなことはありません。音楽とともに歩み続けている未来を思い描いています。

6：精神的に落ち込んだ時、疲れたたりした時の気分転換の方法は？

気分が落ち込んだ時や疲れた時は、ペットの犬を抱っこして過ごします。そのぬくもりに触れると、自然と心がやわらぎ、穏やかな気持ちを取り戻すことができます。



日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan 〈CMDJ〉) からのお知らせ

◆会員へのお誘い

本会は一つの専門だけではなく、声楽、器楽、作曲、研究、評論、教育、軽音楽、舞踊、などさまざまなジャンルの専門家で構成される団体です。機関誌として、この「音楽の世界」を発行し、演奏会、ゼミナール、研究会などを開催するほか、会報、メールマガジン、ホームページの発行や、会員同士の交流、情報交換などもあり、さまざまなジャンルの人との交流が出来るのはこの団体の特徴です。

正会員の会費は年額 22,000 円、**準会員**の会費は年額 15,000 円です。他に 30 歳未満の方を対象とした**青年会員 (年額 11,000 円)** という特典制度があります。青年会員は役員の被選挙権を有さない以外は、正会員と同等の権利を有します。

◆賛助会員へのおさそい

本会の活動に協賛し、ご支援下さる方々を対象とした制度です。所定の年会費を納めて頂くほか、どのような資格制限も無く拘束もありません。どなたでもお申し込み頂けます。本誌「音楽の世界」を毎号お送りする他、本会が主催する演奏会などの事業に会員同様無料または会員割引料金で入場できます。

年会費は 1 口 10,000 円で、1 口以上からお申し込みになれます。

◆会友制度について

会友には研究員と維持会友があります。

・研究員は本会を足場に、研究、音楽活動をして行く方々のための制度で、本会において研究員としての活動を認められた方々は、会の主催行事（コンサート、研究会など）について、会員に準ずる条件で参加する権利を有します。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、本会機関誌「季刊；音楽の世界」を毎号お送り致します。

・維持会友は本誌や本会の活動に関心をお持ちの方は申し込みいただければ、どなたでも資格を得ることが出来ます。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、「季刊：音楽の世界」を毎号お送り致します。

★機関誌『季刊：音楽の世界』定期購読について

『季刊：音楽の世界』は、年 4 回発刊されておりますが、年間購読費 3,200 円で、定期購読が出来ます。定期購読者には毎号郵送で、『音楽の世界』をお送りします。

以上の記載事項について、詳しくは本会事務所（電話 03-3369-7496）へお問い合わせください。

日本音楽舞踊会議 (TEL/Fax03-3369-7496) ・

e-mail: info@cmdj1962.net